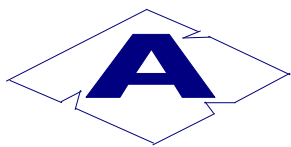


発行日：2024年5月13日



エコアクション21 環境経営レポート

2023年度
(運用期間：2023年4月1日～2024年3月31日)



旭九州株式会社

佐賀県鹿島市大字山浦丁1430-35



【目次】



1. 環境経営方針	3
2. 事業概要及び対象組織と活動	4
3. E A 2 1 実施体制	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画（本社・工場）	7
// （大村工場）	8
6. 環境経営目標の実績（本社・工場）	9
// （大村工場）	10
7. 環境経営計画の取り組み結果と反省点（本社・工場）	11
// （大村工場）	12
8. 今後の環境経営目標	13
9. 今後の環境経営計画（本社・工場）	14
// （大村工場）	15
10. 環境関連法規等への違反、訴訟の有無（本社・工場）	16
// （大村工場）	17
11. 代表者による全体の評価と見直し指示	18
12. 当社の環境への取り組み	19



1. 環 境 経 営 方 針



■基本理念

旭九州株式会社は、自動車産業を通じて「快適な暮らしと健康」、「地球環境への調和」を掲げ、全従業員が事業活動のあらゆる面で、地球環境に影響を与えることを配慮して行動します。

■行動指針

1. 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして継続的に取り組みます。
 - (1) 使用エネルギー（電気、ガソリン、軽油）の節約
 - (2) 資源の利用効率向上による廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進による最終処分量の削減
 - (3) 節水による水使用量の削減
 - (4) 地域貢献活動の推進
 - (5) グリーン購入の推進
2. 環境関連法令と当社が参加した協定等を順守します。
3. 行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に対し積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。
4. 環境経営レポートを作成し、環境取り組みの状況を公表します。

制定日 2024年6月24日

旭九州株式会社

代表取締役社長 栗林 裕幸



2. 事業概要及び対象組織と活動



■事業概要

(1) 名称及び代表者名

旭九州株式会社
代表取締役社長 栗林 裕幸

(2) 所在地

【本 社】佐賀県鹿島市大字山浦丁1430-35
【大村工場】長崎県大村市雄ヶ原町147-39

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：部長 石橋 拓也
環境保全責任者：室長 井川 裕樹
担 当 者：係長 中尾 了
連 絡 先：0954-69-0107

(4) 事業内容

自動車内装品シートカバー縫製

(5) 事業の規模

【売上高】 2023年度 … 36.5億
【延床面積】 本社 4,211m²
大村工場 436m²

【従業員数】

	本社・工場	大村工場
従業員数	176	39
合計	215	

(6) 事業年度

4月～翌3月

(7) 法人設立年月日

2008年4月

(8) 資本金

2,000万円

■認証・登録の対象組織と活動

登録組織名：旭九州株式会社

対象組織：全組織・全活動

事業所：本社・工場
大村工場

活 動：自動車内装品シートカバー縫製

【本社】



【大村工場】



※2024年4月1日現在

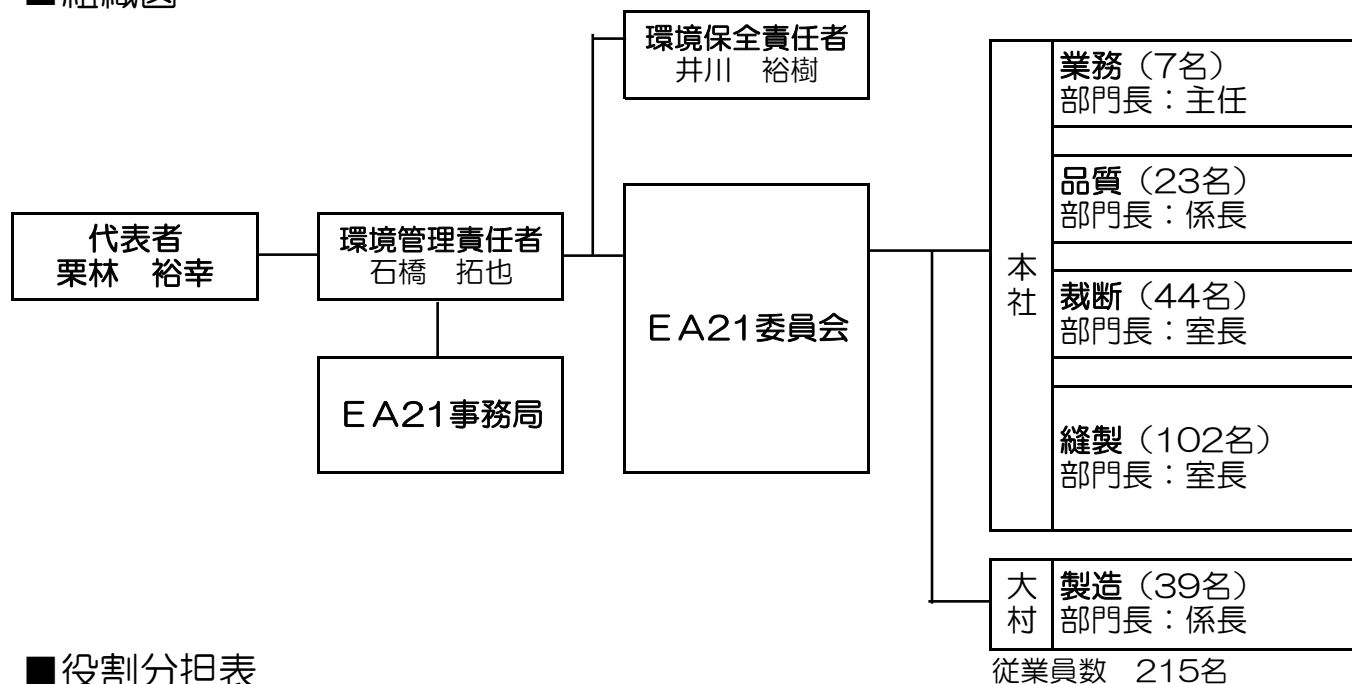




3. E A 2 1 実施体制



■組織図



■役割分担表

代表者	- 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ - 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する - 環境管理責任者、E A 2 1事務局員を任命する - 環境への取り組みを実施するための資源（人・物・金・情報）を準備する - E A 2 1全体の取り組み状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	- E A 2 1ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・実行し、環境実績を向上させる - 環境保全活動全般の計画、実施、管理及び、制改訂の責任者 - 環境経営目標、環境経営計画を作成する 3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を確認する - 上記の結果を代表者に報告する
環境保全責任者	- 環境管理責任者を補佐し、環境活動全般の計画、実施、管理及び、制改定の責任者 3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を確認する。
E A 2 1事務局	- 環境管理責任者を補佐し、E A 2 1文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行い、全体計画の立案を行う。 - 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
E A 2 1委員会	3ヶ月に1回開催し、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を確認する
部門長・担当	- 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する - 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境経営活動を推進する - 自部門で発生した問題点の処置、予防処置を実施する - 自部門に関連する法規制等を順守する - 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する - 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する - 決められた事を守り、自主的・積極的に環境経営計画へ参加する



4. 環境経営目標



環境経営目標は2020年度実績を基準とし、環境負荷は毎年1%ずつ削減していきます。

環境経営目標		単位	該当事業所	(基準年度) 2020年度 実績	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	全社	267,117	264,446	261,775	259,104
			本社・工場	210,650	208,543	206,437	204,330
			大村工場	56,468	55,903	55,338	54,773
1-1	電気使用量の削減	kWh	全社	487,134	482,263	477,391	472,520
			本社・工場	413,334	409,201	405,067	400,934
			大村工場	73,800	73,062	72,324	71,586
1-2	ガソリン・軽油使用量の削減	L	本社・工場 (ガソリン)	5,458	5,403	5,349	5,294
			大村工場 (軽油)	8,185	8,103	8,021	7,939
2-1	製品1台当たり廃棄物排出量の維持	kg	本社・工場	2.58	2.55	2.53	2.50
2-2	一般廃棄物量の削減	kg	全社	63.0	62.4	61.7	61.1
3	水使用量の削減	m ³	本社・工場	1,246	1,234	1,221	1,209
			大村工場	223	221	219	216
4	グリーン購入の推進	品目数	事務所	6	6品目以上	6品目以上	6品目以上
5	地域貢献活動の推進	回/年間	本社・工場	2回	2回以上	2回以上	2回以上
			大村工場	2回	2回以上	2回以上	2回以上
6	スリプロン塗布量の管理	-	本社・工場	数値目標を立てず適正に管理する。			

注1) 購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は、九電の2020年後、0.479kg-CO2/kWhを使用しました。



5. 環境経営計画【本社・工場】



1 二酸化炭素排出量の削減。（責任者：縫製係 係長）

1-1 電気使用量の削減。（400,934kWh以下/年）

- ① エアコンの温度調整と場所を決め実行する。（担当：縫製係 職長）
- ② 食堂・トイレ等の照明は使用時のみ点灯。（担当：縫製係 班長）
- ③ 昼休み、ホットタイム時間の消灯。（担当：縫製係 班長）
- ④ デマンドによる電気使用量の管理・抑制。（担当：縫製係 職長）

1-2 ガソリン使用量削減（5,294L以下/年）

- ① エコドライブ10のすすめに基づくエコドライブの実施。（担当：縫製係 職長）
- ② 定期点検の実施。（担当：縫製係 職長）

2 廃棄物排出量の維持（責任者：裁断係 係長）

- ① 材料歩留りの向上。（担当：裁断係 班長）
- ② 分別によるリサイクルの推進。（担当：裁断係 班長）

3 一般廃棄物排出量の削減（61.1kg以下/年）（責任者：業務部 GL）

- ① 古紙リサイクル手順書に基づき裏紙の再利用。（担当：業務部 GL）

4 水使用量の削減（1,209㎡以下/年）（責任者：検査係 係長）

- ① 節水の呼びかけ（担当：検査係 班長）

5 グリーン購入の推進（6品目以上）（責任者：業務部 GL）

- ① グリーン相当事務用品の調査・購入。（担当：業務部 GL）

6 地域貢献活動の推進（2回以上）（責任者：業務部 GL）

- ① 地域での環境活動に積極的に参加する。（担当：業務部 主任）

7 スリプロン塗布量の管理（責任者：裁断係 係長）

- ① スリプロン入出庫管理台帳を基に、適正に管理する。（担当：裁断係 班長）



5. 環 境 経 営 計 画 【大村工場】



1 二酸化炭素排出量の削減。（責任者：縫製係 係長）

1-1 電気使用量の削減。（71,586kWh以下/年）

- ① エアコンの温度調整と場所を決め実行する。（担当：縫製係 班長）
- ② 食堂・トイレ等の照明は使用時のみ点灯。（担当：縫製係 班長）
- ③ 昼休み、ホットタイム時間の消灯。（担当：縫製係 班長）

1-2 軽油使用量削減（7,939以下/年）

- ① エコドライブ10のすすめに基ずくエコドライブの実施。（担当：縫製係 職長）
- ② 定期点検の実施。（担当：縫製係 班長）

2 水使用量の削減（216㎡以下/年）（責任者：縫製係 係長）

- ① 節水の呼びかけ（担当：縫製係 班長）

3 地域貢献活動の推進（2回以上）（責任者：縫製係 係長）

- ① 地域での環境活動に積極的に参加する。（担当：縫製係 班長）



6. 環境経営目標の実績【本社・工場】



2023年4月～2024年3月における目標に対する実績は次のとおりです。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2020年度調整後排出係数
0.479kg-CO₂/kWhを使用して算出しました。

年度は4月から翌年3月とします。

環境経営目標		単位	2023年度 目標	2023年度 実績	達成率 (目標値/実績値)	判定結果
	全社二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	259,104	222,272	117%	○
	二酸化炭素排出量の削減 【本社・工場】	kg-CO ₂	204,330	167,787	122%	○
1-1	電気使用量の削減	kWh	400,934	325,782	123%	○
1-2	ガソリン使用量の削減	L	5,294	5,060	105%	○
2-1	製品1台当たり廃棄物排出量 の維持	kg	2.50	2.47	101%	○
2-2	一般廃棄物量の 削減	kg	61	60.9	100%	○
3	水使用量の削減	m ³	1,209	1,205	100%	○
4	グリーン購入の推進	品目数	6品目以上	6品目	100%	○
5	地域貢献活動の推進	回/年間	2回以上	2回	100%	○
6	スリプロン塗布量の管理	-	適正管理	適正管理	○	○

※達成率＝目標値／実績値 （評価）○：100%以上、△：100%未満～95%以上、×：95%未満

※製品1台当たり廃棄物排出量=373,700kg/15,100台として算出。（2023 年度）

※スリプロンとは、減摩コーティング剤であり車両シートのリクライニング時の表皮擦れ音を低減させる塗布剤です。



6. 環境経営目標の実績【大村】



2023年4月～2024年3月における目標に対する実績は次のとおりです。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2020年度調整後排出係数
0.479kg-CO₂/kWhを使用して算出しました。

年度は4月から翌年3月とします。

環境経営目標		単位	2023年度 目標	2023年度 実績	達成率 (目標値／実 績値)	判定結果
1	二酸化炭素排出量の削減 【大村】	kg-CO ₂	54,773	54,484	101%	○
2	電気使用量の削減	kWh	71,586	71,554	100%	○
3	軽油使用量の削減	L	7,939	7,833	101%	○
4	水使用量の削減	m ³	216	177	122%	○
5	地域貢献活動の推進	回/年間	2回以上	2回	100%	○

※達成率＝目標値／実績値 （評価）○：100%以上、△：100%未満～95%以上、×：95%未満



7.環境経営計画の取り組み結果と反省点【本社・工場】



1 二酸化炭素排出量の削減

総合の二酸化炭素排出量の目標を達成できております。
エアコンの使用量を減らすため終業30分前にエアコンを切る活動・デマンドによる電気使用量の管理抑制などを行い目標達成できています。
今年度は節電の為に、各種ブレーカーを『連休前』『毎日』『常時ON/OFF』と層別し、終業時に切る事を日常管理の中に落とし込み活動を実施してきました。

2 廃棄物排出量の維持

廃棄物排出量の維持の目標を達成できております。
昨年度は自動型入れに特化した新CADを導入し、材料の歩留まり率を大きく改善することが出来ました。また粗切りの長さを延長し、更なる歩留まり率の向上を実施することが出来ました。

3 一般廃棄物排出量の削減

古紙リサイクル手順書に従い分別を徹底し目標を達成できております。

4 水使用量の削減

水使用量の削減目標を達成できております。次年度も朝礼などでの呼びかけを行い目標達成できるよう取り組んでいきます。

5 グリーン購入の推進（6品目以上）

計画的にグリーン購入の推進ができております。
今年度は、本社・工場⇄大村工場の運搬用トラックを更新し、1回当りの運搬台数増、燃費の向上により軽油使用量を削減することが出来ました。

6 地域貢献活動の推進（2回以上）

毎月〇の付く日に交通安全立哨活動に取り組み、交通安全の呼びかけを行っております。

交通安全立哨活動の様子



7 スリプロン塗布量の管理

入在庫管理台帳による日々の確認は適正に行えております。

次年度の環境経営計画は、このままの変更無しとする。



7.環境経営計画の取り組み結果と反省点【大村】



1 二酸化炭素排出量の削減

総合の二酸化炭素排出量の削減目標を達成できております。
電気使用量について、クイックシャッターを取り付け、工場内の温度変化を少なくするようし、昼休み・ホットタイム時間の消灯を呼びかけ徹底できております。
軽油使用量につきまして、生産台数増減に対してのトラック便数の増減調整をタイムリーに行い、軽油使用量の低減につながっております。

2 水使用量の削減

水使用量は目標達成しております。
本社工場同様に、朝礼時、手洗い時などの水の出しっぱなし禁止の呼びかけ等、従業員への意識付けもできております。

3 地域貢献活動の推進（2回以上）

工場周辺の清掃活動は取り組んでいます。
地域のボランティア活動にも取り組んでおり、次年度の積極的に参加していきます。

工場敷地内清掃活動の様子



ボランティア活動の様子



次年度の環境経営計画は、このままの変更無しとする。



8. 今後の環境経営目標



環境経営目標は2023年度実績を基準とし、環境負荷は毎年1%ずつ削減していきます。

環境経営目標		単位	該当事業所	(基準年度) 2023年度 実績	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
1	二酸化炭素排出量の削減(売上高は100万円当りとします)	kg-CO2	全社	193,665	191,728	189,792	187,855
		kg-CO2/ 売上高		64.4	63.7	63.1	62.5
		kg-CO2	本社・工場	144,332	142,888	141,445	140,002
		kg-CO2/ 売上高		48.0	47.5	47.0	46.5
		kg-CO2	大村工場	49,332	48,839	48,346	47,852
		kg-CO2/ 売上高		16.4	16.2	16.1	15.9
1-1	電気使用量の削減(売上高は100万円当りとします)	kWh	全社	397,336	393,363	389,389	385,416
		kWh/売上高		132.1	130.8	129.5	128.1
		kWh	本社・工場	325,782	322,524	319,266	316,009
		kWh/売上高		108.3	107.2	106.1	105.1
		kWh	大村工場	71,554	70,838	70,123	69,407
		kWh/売上高		23.8	23.6	23.3	23.1
1-2	ガソリン・軽油使用量の削減	L	本社・工場 (ガソリン)	5,060	5,009	4,959	4,908
			大村工場 (軽油)	7,833	7,755	7,677	7,598
2-1	製品1台当たり廃棄物排出量の維持	kg	本社・工場	2.50	2.48	2.45	2.43
2-2	一般廃棄物量の削減	kg	全社	60.9	60.3	59.7	59.1
3	水使用量の削減	m ³	本社・工場	1,204	1,192	1,180	1,168
			大村工場	191	189	187	185
4	グリーン購入の推進	品目数	事務所	6	6品目以上	6品目以上	6品目以上
5	地域貢献活動の推進	回/年間	本社・工場	2回	2回以上	2回以上	2回以上
			大村工場	2回	2回以上	2回以上	2回以上
6	スリプロン塗布量の管理	-	本社・工場	数値目標を立てず適正に管理する。			

注1) 購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は、九電の2023年度、0.406kg-CO2/kWhを使用しました。

注2) 全社二酸化炭素排出量は、電気、ガソリン・軽油の合計量とします

注3) 環境目標の原単位は売上高(最近3年間の平均値を使用します。)

売上高 = 3,008 百万円



9. 今後の環境経営計画【本社・工場】



1 二酸化炭素排出量の削減。（責任者：縫製係 係長）

1-1 電気使用量の削減。

- ① エアコンの温度調整と場所を決め実行する。（担当：縫製係 職長）
- ② 食堂・トイレ等の照明は使用時のみ点灯。（担当：縫製係 班長）
- ③ 昼休み、ホットタイム時間の消灯。（担当：縫製係 班長）
- ④ デマンドによる電気使用量の管理・抑制。（担当：縫製係 職長）

1-2 ガソリン使用量削減

- ① エコドライブ10のすすめに基づくエコドライブの実施。（担当：縫製係 職長）
- ② 定期点検の実施。（担当：縫製係 職長）

2 廃棄物排出量の維持（責任者：裁断係 係長）

- ① 材料歩留りの向上。（担当：裁断係 班長）
- ② 分別によるリサイクルの推進。（担当：裁断係 班長）

3 一般廃棄物排出量の削減（責任者：業務部 GL）

- ① 古紙リサイクル手順書に基づき裏紙の再利用。（担当：業務部 GL）

4 水使用量の削減（責任者：検査係 係長）

- ① 節水の呼びかけ（担当：検査係 班長）

5 グリーン購入の推進（6品目以上）（責任者：業務部 GL）

- ① グリーン相当事務用品の調査・購入。（担当：業務部 GL）

6 地域貢献活動の推進（2回以上）（責任者：業務部 GL）

- ① 地域での環境活動に積極的に参加する。（担当：業務部 主任）

7 スリプロン塗布量の管理（責任者：裁断係 係長）

- ① スリプロン入出庫管理台帳を基に、適正に管理する。（担当：裁断係 班長）



9. 今後の環境経営計画【大村工場】



1 二酸化炭素排出量の削減。（責任者：縫製係 係長）

1-1 電気使用量の削減。

- ① エアコンの温度調整と場所を決め実行する。（担当：縫製係 班長）
- ② 食堂・トイレ等の照明は使用時のみ点灯。（担当：縫製係 班長）
- ③ 昼休み、ホットタイム時間の消灯。（担当：縫製係 班長）

1-2 軽油使用量削減

- ① エコドライブ10のすすめに基ずくエコドライブの実施。（担当：縫製係 職長）
- ② 定期点検の実施。（担当：縫製係 班長）

2 水使用量の削減（責任者：縫製係 係長）

- ① 節水の呼びかけ（担当：縫製係 班長）

3 地域貢献活動の推進（2回以上）（責任者：縫製係 係長）

- ① 地域での環境活動に積極的に参加する。（担当：縫製係 班長）



10.環境関連法規等への違反、訴訟等の有無【本社】



法律	要求事項	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (一般廃棄物の処理)	委託基準の遵守	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (産業廃棄物の処理)	保管基準の遵守	遵守
	許可業者への委託	遵守
	委託基準の遵守	遵守
	排出事業者の責任（委託先の状況の確認を行う）	遵守
	マニフェスト票の交付	遵守
	マニフェスト票の写しの保存期間	遵守
	マニフェスト票に関する知事への定期報告	遵守
自動車リサイクル法	自動車の所有者の責務	遵守
	使用済み自動車の引渡し義務	遵守
	再資源化預託金等の預託義務	遵守
フロン排出抑制法	フロン類破壊業者に対し、当該フロン類を引き渡さなければならない。 引取証明書の写しを当該交付をした日から主務省令で定める期間保存しなければならない。 機器の簡易点検（四半期に1回以上）と点検記録を保存しなければならない。	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の再商品化	遵守
浄化槽法（第11条他）	保守点検	遵守
	浄化槽の清掃	遵守
	水質検査の適合性	遵守

■違反・訴訟等の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。
また、同様に利害関係者からの訴訟等もありませんでした。



10.環境関連法規等への違反、訴訟等の有無【大村】



法律	要求事項	評価
自動車リサイクル法	自動車の所有者の責務	遵守
	使用済み自動車の引渡し義務	遵守
	再資源化預託金等の預託義務	遵守
フロン排出抑制法	フロン類破壊業者に対し、当該フロン類を引き渡さなければならない。 引取証明書の写しを当該交付をした日から主務省令で定める期間保存しなければならない。 機器の簡易点検（四半期に1回以上）と点検記録を保存しなければならない。	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の再商品化	遵守

■違反・訴訟等の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。

また、同様に利害関係者からの訴訟等もありませんでした。



11. 代表者による全体の評価と見直し・指示



評価及び見直しを実施した年月 日	前回	2023年 4月 7日
	今回	2024年 4月 8日
代表者確認		栗林 裕幸

評価	環境への取組は適切に実施されているか ・環境経営方針で誓約したことが実行されているか。	本年も本社工場・大村工場共に目標達成できております。 電気使用量・二酸化炭素排出量の低減について計画的な活動により目標達成できております。 ガソリン・軽油使用量についても、生産数増減に対する便数の増減など、効率的なトラック運搬に取り組み目標達成できております。 廃棄物排出量についても、材料歩留り改善・加工不良低減活動に取り組み目標達成できております。 水使用量についても本社工場・大村工場共に目標達成できております。 地域貢献活動として今年度は地域のボランティア活動への参加、自社回りの清掃を実施しております。毎月〇の付く日の立証活動に取り組む事ができております。
	環境システムが有効に機能しているか ・その場の取組ではなく、決められルールに基づいて行動しているか。 ・目標を明確にし、取組の結果を評価しているか。 ・役割、責任等を定め、全員で取組んでいるか	3か月に1回の委員会は確実に実施され、運用できております。
見直し (変更の 必要性和 指示)	環境経営方針 変更の必要性 (○有 ●無)	その他環境経営システムの要素については、実施体制の見直しを実施しております。
	環境経営目標・環境経営計画 変更の必要 (○有 ●無)	
	その他の環境経営システムの要素 変更の必要性 (●有 ○無) ○環境負荷、取組の自己チェック ○環境関連法規等の取りまとめ ●実施体制 ○手順書 ○教育訓練 ○環境コミュニケーション ○実施及び運用 ○緊急事態への準備と訓練 ○取組状況の確認と評価 ○問題点の是正処置 ○文章及び記録の作成整理	

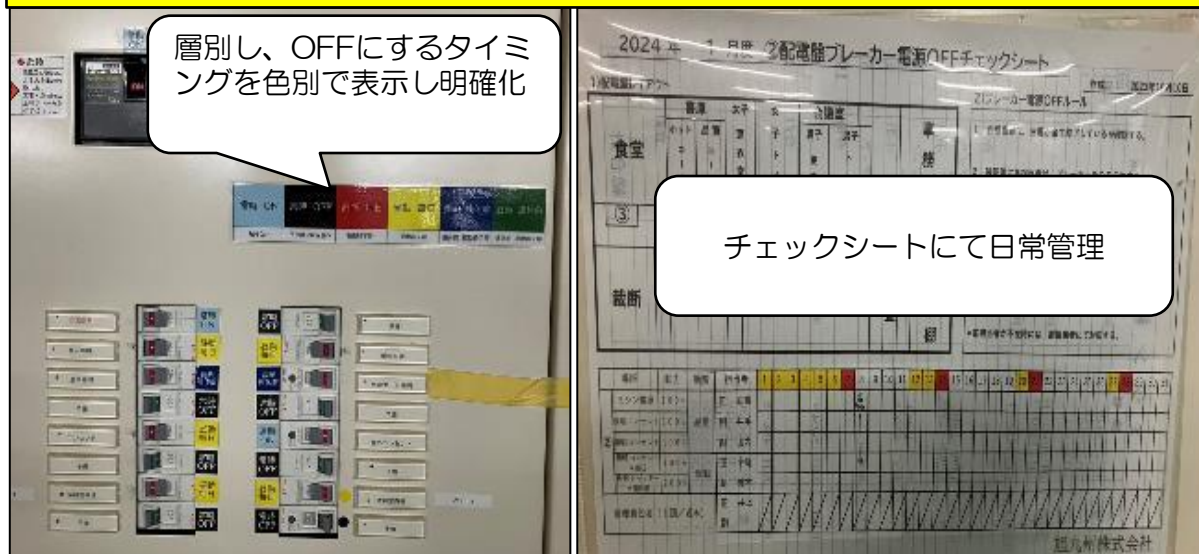
※内部監査を3月22日に行い、その結果を3月25日に伝え、計画の見直しを行った。その結果問題はなかった。



12. 当社の環境への取組み



ブレーカーOFFによる待機電力の低減



環境経営計画の実施状況見える化



照明器具間引きによる消費電力の削減

